

ほけんだより

病児・病後児保育「みどり」
令和6年8月発行



今月のテーマは「**救急の日**について」です



救急の日って何？

9月9日の【救急の日】は「救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的とした日」です。

子どもに限らず、体調の変化や怪我はいつ起こるかわかりません。

「かかりつけ医の診療時間外…どこで受診していいかわからない…」「救急車を呼んでいいのか？」などなど急な出来事の時には慌ててしまいますよね。

そんな状況を想定し、津市こども応急クリニックや三重県救急医療情報センターなどの連絡先などこの機会に確認をしておきましょう。

救急箱の中身を確認するなどのいい機会にもなると思います。



子どものケガなどの簡単な応急手当



《擦り傷》

- ・傷を流水でよく洗う できる限り傷の中に異物が残らないよう、水道水で洗い流します。
- ・血が出ていたら、傷を直接圧迫する 傷に清潔なガーゼやタオルなどを当てて、その上から血が出ている場所を押さえます。
- ・傷の状態を確認する 傷が深い時や、傷の深さを自分で確認するのが難しい時は、お医者さんにみてもらうようにしてください。
- ・傷を清潔に保ち保湿する。



《鼻血》

抱っこするか、座らせた状態で下を向かせます。（上を向くと、鼻血を飲んでしまうことがあります）口呼吸をさせ、鼻のやわらかい部分を両方から外から強くおさえて様子を見ます。

15分ほど様子を見ながら圧迫を続け、鼻血が止まったようであれば問題はありません。

